

ERP管理者 養成講座

ERPの導入・活用に必要な 生産管理の業務知識

～ MRPとCRPの実践的な活用を目指して ～

株式会社 IT経営コンサルティング

本プレゼン教材に含まれる全てのコンテンツは、(株)IT経営コンサルティングの書面による事前の許諾なしに複製、複製、掲載、転送、配布または二次的著作物作成などのために使用することは、**禁じられています。**

はじめに

せっかく高額な投資と膨大な工数を費やしてERPを導入しても製造業のERP管理者に生産管理の業務知識がないと導入したERPを経営に効果的に活用することはできない。

なぜなら、生産計画で用いるMRPや生産統制で用いるCRPの**ロジック**を理解していないと生産管理システムの業務改革を生産管理担当者と協力して推進することができないからです。

ERPの導入を予定している企業のERP管理者が、ERPベンダーが行う講習会を、その講習会が前提としている業務知識がないまま受講すると、講習の内容を理解できないので支払った高額な料金が無駄になってしまう。

製造業のERP管理者には、生産管理の業務知識が前提条件

はじめに

- 本講座の目的 7
- 受講後の期待効果 8
- 製造業の代表的な生産方式 9
- 加工組立製造業における生産方式の体系 . . . 10
- 中間在庫数量と納入L Tを同時に下げる . . . 11
- 生産管理に関わる業務処理 12
- 生産計画の体系 13
- M P S（基準生産計画） 14

MRP（資材所要量計画）

- MRPとは 15
- MRPで使われる重要なファイル 16

● MRPの理解に必要なキーワード	17
● MRPの計算に関係するデータ	18
● MRPの構造	19
● MRPの計算	21
● オーダーのタイミング	26
● MRP計算の具体的な流れ	27
● MRP計算の対象範囲による違い	28
● MRPに関するキーワード	29
● MRPを活用するためのポイント	31
CRP（能力所要量計画）	
● MRPとCRPとの関係	33
● CRPとは	34

● CRPの理解に必要なキーワード	35
● 工程の生産能力	38
● 製造オーダーとは	39
● 製造リードタイムの構成要素	40
● 段取り替えとは	41
● バックフラッシュとは	42
● CRPの計算に関係するデータ	43
● CRPの実行手順	44
● 工数山積表	45
● 無限CRP vs. 有限CRP	47
● 過負荷の工程の負荷調整	48
● CRPを活用するためのポイント	49

APS

- APSとは 50
- MRPとCRPとAPSとの関係 51

個別受注生産

- 個別受注生産向けに必要な仕組み 52
- 個別受注生産で儲ける秘訣 54

理解度の確認テスト 55

おわりに